

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	作業療法研究法Ⅱ-①		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	406号室
担 当 教 員	石橋康信、本家寛文、大釜崇、竹内知仁	実務経験とその関連資格	作業療法学会やその他学会にて多数発表を行い、学会長も経験。			
《授業科目における学習内容》						
作業療法研究法Ⅰで作成した研究計画書をもとに研究を行い、抄録や口述発表やポスター発表に必要な資料を作成します。小グループに担当教員がつき指導をしていきます。研究を行っていく中で、自分なりに考え、行動する態度を身に付けましょう。また、グループでの研究を基本とすることで、共同学習の態度を身に付けていきます。最終目標は課題研究発表会での発表です。						
《成績評価の方法と基準》						
学科内研究発表(50%)、課題研究発表会(50%)で評定を行う。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
作業療法研究法マニュアル(一般社団法人日本作業療法士協会) その他 必要な参考書は各教員から説明を行う。						
《授業外における学習方法》						
基本的に次の通り。 事前学習(30分) 予習。提出課題(抄録、発表用スライドなど)準備。 事後学習(30分) 教員等からのフィードバックを受けて提出課題(抄録、発表用スライドなど)修正。						
《履修に当たっての留意点》						
作業療法における研究の必要性を理解し、楽しく研究をして下さい。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。		教科書	事前学習 前回までの研究内容を見直す。(30分) 事後学習 授業内容の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。		教科書	事前学習 前回までの研究内容を見直す。(30分) 事後学習 授業内容の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。		教科書	事前学習 前回までの研究内容を見直す。(30分) 事後学習 授業内容の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。		教科書	事前学習 前回までの研究内容を見直す。(30分) 事後学習 授業内容の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。		教科書	事前学習 前回までの研究内容を見直す。(30分) 事後学習 授業内容の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。	教科書	事前学習 前回までの研究内容を見直す。(30分) 事後学習 授業内容の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。	教科書	事前学習 前回までの研究内容を見直す。(30分) 事後学習 授業内容の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。	教科書	事前学習 前回までの研究内容を見直す。(30分) 事後学習 授業内容の復習。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。	教科書	事前学習 統計分析方法や論文作成の方法を学習。(30分) 事後学習 まとめた内容を確認する。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。	教科書	事前学習 統計分析方法や論文作成の方法を学習。(30分) 事後学習 まとめた内容を確認する。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。	教科書	事前学習 統計分析方法や論文作成の方法を学習。(30分) 事後学習 まとめた内容を確認する。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法における科学的な研究法の習得は必須であるとし、基本的な研究法について学ぶ。②作業療法の発展に重要な研究デザインの考え方や基本統計手法、事例研究について理解する。	教科書	事前学習 統計分析方法や論文作成の方法を学習。(30分) 事後学習 まとめた内容を確認する。(30分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成・見直し 研究法Ⅰの内容を振り返り、自分たちの研究方法に間違いはないか確認することができる。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。	教科書	事前学習 発表の仕方(セリフ・時間等)をチェックする。(30分) 事後学習 発表会で指摘された面の整理。(30分)
		各コマにおける授業予定	実験・調査等でのデータ採取、データ解析 実験や調査等をした後で、データを解析し、学科内発表会に向けて研究をまとめていくことができる。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。	教科書	事前学習 発表の仕方(セリフ・時間等)をチェックする。(30分) 事後学習 発表会で指摘された面の整理。(30分)
		各コマにおける授業予定	実験・調査等でのデータ採取、データ解析 実験や調査等をした後で、データを解析し、学科内発表会に向けて研究をまとめていくことができる。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。	教科書	事前学習 統計方法・文章作成の仕方の検討。(30分) 事後学習 再検討したことの見直し。(30分)
		各コマにおける授業予定	実験・調査等でのデータ採取、データ解析 実験や調査等をした後で、データを解析し、学科内発表会に向けて研究をまとめていくことができる。		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		作業療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		作業療法研究法Ⅱ-②		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限	通年	教室名	406号室
担 当 教 員		石橋康信、本家寛文、大釜崇、竹内知仁□	実務経験とその関連資格	作業療法学会やその他学会にて多数発表を行い、学会長も経験。			
《授業科目における学習内容》							
作業療法研究法Ⅰで作成した研究計画書をもとに研究を行い、抄録や口述発表やポスター発表に必要な資料を作成します。小グループに担当教員がつき指導をしていきます。研究を行っていく中で、自分なりに考え、行動する態度を身に付けましょう。また、グループでの研究を基本とすることで、共同学習の態度を身に付けていきます。最終目標は課題研究発表会での発表です。							
《成績評価の方法と基準》							
学科内研究発表(50%)、課題研究発表会(50%)で評定を行う。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
作業療法研究法マニュアル(一般社団法人日本作業療法士協会) その他 必要な参考書は各教員から説明を行う。							
《授業外における学習方法》							
基本的に次の通り。 事前学習(30分) 予習。提出課題(抄録、発表用スライドなど)準備。 事後学習(30分) 教員等からのフィードバックを受けて提出課題(抄録、発表用スライドなど)修正。							
《履修に当たっての留意点》							
作業療法における研究の必要性を理解し、楽しく研究をして下さい。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。		教科書	事前学習 統計方法・文章作成の仕方の検討。(30分) 事後学習 再検討したことの見直し。(30分)	
		各コマにおける授業予定	実験・調査等でのデータ採取、データ解析 実験や調査等をした後で、データを解析し、学科内発表会に向けて研究をまとめていくことができる。				
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。		教科書	事前学習 統計方法・文章作成の仕方の検討。(30分) 事後学習 再検討したことの見直し。(30分)	
		各コマにおける授業予定	実験・調査等でのデータ採取、データ解析 実験や調査等をした後で、データを解析し、学科内発表会に向けて研究をまとめていくことができる。				
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。		教科書	事前学習 統計方法・文章作成の仕方の検討。(30分) 事後学習 再検討したことの見直し。(30分)	
		各コマにおける授業予定	実験・調査等でのデータ採取、データ解析 実験や調査等をした後で、データを解析し、学科内発表会に向けて研究をまとめていくことができる。				
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。		教科書	事前学習 論文の書き方等の学習。(30分) 事後学習 作成した資料の見直し。(30分)	
		各コマにおける授業予定	実験・調査等でのデータ採取、データ解析 実験や調査等をした後で、データを解析し、学科内発表会に向けて研究をまとめていくことができる。				
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。		教科書	事前学習 論文の書き方等の学習。(30分) 事後学習 作成した資料の見直し。(30分)	
		各コマにおける授業予定	まとめ(再)、発表準備(再) 検討したものを発表できる形にまとめることができる。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。	教科書	事前学習 提出原稿の形式を把握する。(30分) 事後学習 抄録原稿の見直し。(30分)
		各コマにおける授業予定	まとめ(再)、発表準備(再) 検討したものを発表できる形にまとめることができる。		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。	教科書	事前学習 提出原稿の形式を把握する。(30分) 事後学習 抄録原稿の見直し。(30分)
		各コマにおける授業予定	まとめ(再)、発表準備(再) 検討したものを発表できる形にまとめることができる。		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。	教科書	事前学習 提出原稿の形式を把握する。(30分) 事後学習 抄録原稿の見直し。(30分)
		各コマにおける授業予定	抄録作成 課題研究発表会の際に配る抄録のための原稿を作成し提出することができる。		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。	教科書	事前学習 提出原稿の形式を把握する。(30分) 事後学習 抄録原稿の見直し。(30分)
		各コマにおける授業予定	抄録作成 課題研究発表会の際に配る抄録のための原稿を作成し提出することができる。		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。	教科書	事前学習 抄録原稿をもとに発表の構想を考える。(30分) 事後学習 作成した資料を見直していく。(30分)
		各コマにおける授業予定	発表用スライド作成 課題研究発表会のためのパワーポイントやポスターを作成することができる。		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。	教科書	事前学習 抄録原稿をもとに発表の構想を考える。(30分) 事後学習 作成した資料を見直していく。(30分)
		各コマにおける授業予定	発表用スライド作成 課題研究発表会のためのパワーポイントやポスターを作成することができる。		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。	教科書	事前学習 抄録原稿をもとに発表の構想を考える。(30分) 事後学習 作成した資料を見直していく。(30分)
		各コマにおける授業予定	発表用スライド作成 課題研究発表会のためのパワーポイントやポスターを作成することができる。		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標①②、③グループで協力しながら進めグループ内で主体性を発揮することができる。	教科書	事前学習 抄録原稿をもとに発表の構想を考える。(30分) 事後学習 作成した資料を見直していく。(30分)
		各コマにおける授業予定	発表用スライド作成 課題研究発表会のためのパワーポイントやポスターを作成することができる。		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	④口述で研究内容を発表できる。	教科書	事前学習 発表の仕方や質問の対応方法を考える。(30分) 事後学習 質問されたことを今後の勉強に生かす。(30分)
		各コマにおける授業予定	質疑応答練習 課題研究発表会の口述発表、ポスター発表において、参加者の質問に十分に対応でき、発表を成功することができる。		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	④口述で研究内容を発表できる。	教科書	事前学習 発表の仕方や質問の対応方法を考える。(30分) 事後学習 質問されたことを今後の勉強に生かす。(30分)
		各コマにおける授業予定	質疑応答練習 課題研究発表会の口述発表、ポスター発表において、参加者の質問に十分に対応でき、発表を成功することができる。		